

第1章 古代までの日本

1 文明のおこり	5
2 日本の成り立ち	11
3 飛鳥時代	17
4 奈良時代	23
5 平安京と摂関政治	29
第1章のまとめ	35
章末問題 A	36
章末問題 B	38

第2章 中世の日本

6 武家政治の始まりと鎌倉幕府	39
7 鎌倉時代の政治とくらし・文化	45
8 鎌倉幕府の滅亡と室町幕府の成立	51
9 社会の変動と応仁の乱	57
第2章のまとめ	63
章末問題 A	64
章末問題 B	66

第3章 近世の日本

10 ヨーロッパの世界進出と日本への来航	67
11 安土桃山時代	73

パワーアップ 年表コーナー	79
---------------	----

8

鎌倉幕府の滅亡と室町幕府の成立

テーマ

- ① 鎌倉幕府の衰退から滅亡と建武の新政までの流れについて理解しよう。
- ② 南北朝～室町幕府の成立までの流れと当時の東アジアの変動について理解しよう。

1 元の襲来と鎌倉幕府の滅亡

(1) モンゴル帝国の拡大…13世紀はじめ、チンギス・ハンがモンゴル民族を統一し、チンギス・ハンと子孫は各地に遠征して大帝国を築いた。チンギス・ハンの孫で、皇帝となったフビライ・ハンは都を大都(現在の北京)に移し、国号を元と定めた。

(2) ユーラシア世界の一体化…モンゴル帝国が大陸の交通路を整えると、各地の技術や情報が広く伝わるようになった。フビライ・ハンに仕えたイタリア人のマルコ・ポーロは日本を「黄金の国ジパング」としてヨーロッパに紹介した。

(3) 元寇…高麗を従えたフビライ・ハンは、日本を従えようとする使者を送ったが、幕府の8代執権北条時宗はこれを無視した。

① 文永の役…1274年、元軍が九州北部に上陸し、集団戦法と火器で幕府軍を苦しめた。短期間で力を誇示することが目的だったことや高麗の不满などもあって、元軍は撤収した。

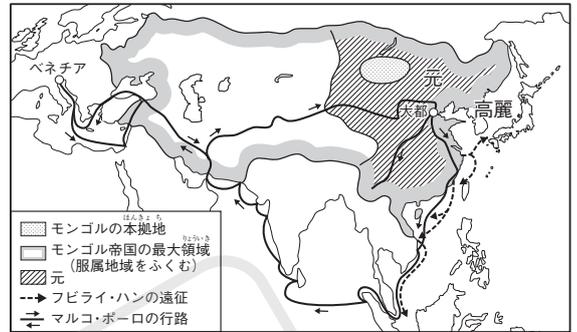
② 弘安の役…元は宋を滅ぼすと1281年に再度来襲。御家人の奮闘と博多湾岸につくられた石の防塁などにはばまれて元軍は上陸できず、暴風雨によって大きな被害を受けて撤退した。

(4) 鎌倉幕府の衰退と滅亡…元の襲来を退けたものの、新しい土地が得られたわけではないので、幕府は御家人に十分な恩賞をあたえられず、御家人は大きな不満を持った。また、元の襲来に備えて、北条氏に権力を集中させるようになると、北条氏への反感も高まった。

① (永仁)の徳政令…分割相続のくり返しにより、御家人の領地は細分化し、御家人の生活はいっそう苦しくなった。そこで幕府は、御家人が質入れしたり売ったりした土地をただで取りもどさせる法令を出したが、あまり効果があがらなかった。

② 幕府の滅亡…悪党とよばれる近畿地方を中心に力をのばした武士が、荘園領主や幕府に反抗したが、幕府は取りまることができなかった。幕府への反感が強まると、後醍醐天皇のよびかけに応じて、有力御家人の足利尊氏や新田義貞、新興の武士の楠木正成らが幕府を攻撃した。こうして、1333年に鎌倉幕府は滅亡した。

▼モンゴル帝国(13世紀ごろ)



▼文永の役(右側は御家人の竹崎季長)

※横写



▼永仁の徳政令(部分要約)

所領の質入れや売買は、御家人の生活が苦しくなるものなので、今後は禁止する。(中略)御家人以外の武士や庶民が御家人から買った土地については、売買後の年数にかかわらず、返さなければならぬ。

確認問題

1 元の襲来と鎌倉幕府の滅亡 次の()にあてはまる語句を答えなさい。

- (1) ()は、13世紀はじめ、モンゴル民族を統一して国家を建てた。
- (2) (1)の孫の()は日本を屈服させようとして、使者を送った。
- (3) 元寇がおこったときの幕府の8代執権は()である。
- (4) 元寇とは1274年の()と1281年の弘安の役の2度の戦いを指す。
- (5) 窮乏する御家人を救うため、1297年、幕府は()を出して、質入れしたり売ったりした領地をただで取りもどさせようとした。
- (6) ()天皇の倒幕運動に足利尊氏や新田義貞らが加わり、1333年、鎌倉幕府は滅亡した。

- (1) _____
- (2) _____
- (3) _____
- (4) _____
- (5) _____
- (6) _____

2 南北朝の動乱と室町幕府の成立

- (1) 建武の新政…1334年、後醍醐天皇は年号を建武と改めて、天皇中心の新しい政治を始めた。しかし、公家重視の政策で政治の混乱が続き、武士や農民の不満が高まった。
- (2) 南北朝の動乱…1335年、足利尊氏が武家政治の再興をよびかけて挙兵すると、新政は2年ほどでくずれた。さらに尊氏が京都に別の天皇を立てると、後醍醐天皇は吉野(奈良県)に逃れた。京都方(北朝)と吉野方(南朝)の2つの朝廷が並立していた約60年間を南北朝時代という。
- (3) 室町幕府の成立…足利尊氏は北朝の天皇から征夷大将軍に任じられ、京都に幕府を開いた。尊氏の孫で、3代将軍となった足利義満は、1392年、南朝と和解し、南北朝の統一に成功した。義満が京都の室町に「花の御所」という将軍邸(室町殿)を建てたのにちなみ、足利氏の幕府を室町幕府とよび、京都に幕府が置かれていた時代を室町時代という。
 - ① 管領…鎌倉幕府の執権にかわる、将軍の補佐役。侍所の長官とともに有力な守護大名が任じられた。
 - ② 鎌倉府…鎌倉に置かれた地方機関。長官(鎌倉公方)は足利氏の一族が世襲し、関東一帯を支配した。
 - ③ 唯一の政権…義満のころ、幕府が朝廷の権限を吸収していき、鎌倉時代から続いた、武家と公家の2つの政府がならび立つ状態から、ただ1つの中央政権ができあがった。
- (4) 守護大名…南北朝の動乱のとき、幕府は守護に荘園の年貢の半分を取る権限をあたえたため、諸国の守護は幕府を支持した。守護は自分の領地を拡大するとともに、領国内の地頭や新興の武士を家来として従え、国司の権限を吸収し、領国全体を自分の領地として支配するようになり、守護大名へと成長していった。やがて管領と有力守護大名の話し合いで政治が行われるようになり、幕府の支配力は弱まり、将軍暗殺や反乱がおこる不安定な時代になった。

▼二条河原の落書

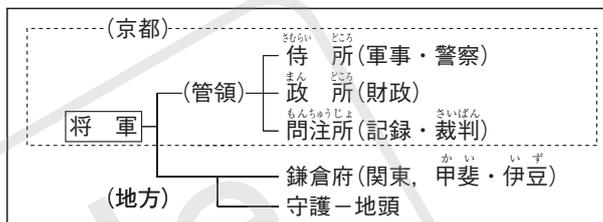
このごろ都にはやるもの。夜討ち、強盗、にせ繪旨。召人、早馬、虚騒動。生頸、還俗、自由出家。

にわか大名、迷い者。安堵、恩賞、虚軍。本領はなれる訴訟人。文書入れたる細つづら。追従、護人、禅律僧、下克(剋)上する成出者。…

- ① いつもの天皇の命令
- ② 囚人
- ③ 急使の早馬
- ④ 僧から俗人にもどること
- ⑤ 所領の保証
- ⑥ 当時力をふるった、天皇側近の禅僧や律僧

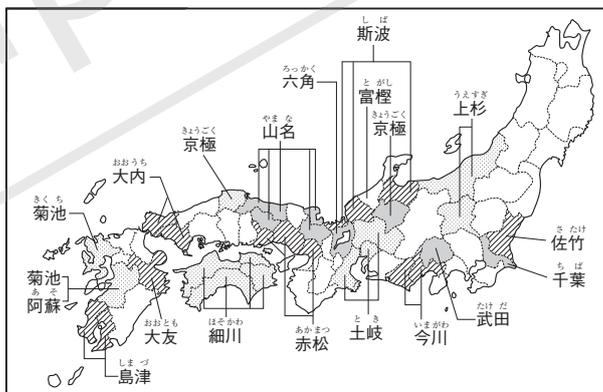
京都の後醍醐天皇の政庁に近い二条河原にかかげられた落書で、建武政権の失政を批判する内容となっている。

▼室町幕府のしくみ



侍所の長官(所司)は主に一色・京極・山名・赤松の4氏から任じられた。

▼おもな守護大名(1365年ごろ)



確認問題

2 南北朝の動乱と室町幕府の成立 次の()にあてはまる語句を答えなさい。

- (1) 後醍醐天皇は、()とよばれる天皇中心の政治を始めた。
- (2) 1335年、()は武家政治の再興をよびかけて挙兵し、(1)を終わらせた。
- (3) (2)の人物が京都に天皇を立てると、後醍醐天皇は奈良の()に逃れた。
- (4) (2)の孫の()は南北朝の統一を実現した。
- (5) 室町幕府で、将軍の補佐をする役職を()という。
- (6) 室町幕府の地方機関である()は関東を支配して独立した勢力を示した。
- (7) 室町幕府は、守護が荘園の()の半分を取る権利を認めた。
- (8) 守護は自分の領地を拡大し、国内の地頭や新興の武士を家来として従えるなどして強大化していき、()へと成長した。

- (1) _____
- (2) _____
- (3) _____
- (4) _____
- (5) _____
- (6) _____
- (7) _____
- (8) _____

3 東アジアの変動

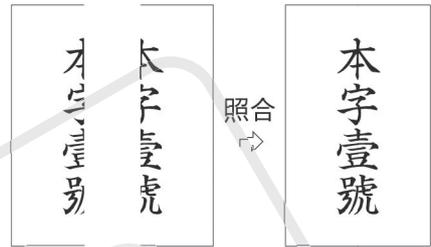
- (1) 倭寇…大陸沿岸では、集団をつくって貿易を強要したり、海賊行為をはたいたりする者があられ、朝鮮や中国の人々はかれらを倭寇とよんで恐れた。倭寇は日本人が中心で朝鮮人や中国人なども加わったと考えられている。
- (2) 明…1368年、漢民族がモンゴル民族の元を北に追い払い明を建国した。明では、絹織物・綿布・陶磁器・茶などの商品生産が発展し、これらは盛んに輸出された。また、思想では国の統治のよりどころとして儒学の朱子学がさかんになったが、やがてこれを批判して陽明学という実行を重んじる儒学の新しい一派も生まれた。
- (3) 日明貿易〔勘合貿易〕…足利義満は、明の求めに応じて倭寇を取りしめるとともに、明との貿易を開始した。この貿易は日本が明に朝貢(使者を送り中国の皇帝に貢ぎ物を差し出すこと)する形式で行われた。正式な貿易船には、明から勘合という合い札の証明書があたえられた。日本での勘合貿易の実権は、はじめ幕府がにぎっていたが、やがて西日本の有力な守護大名に移っていった。
 - ① 日本の輸出品…銅・刀・硫黄・まき絵(うるし工芸)など。
 - ② 日本の輸入品…銅銭・生糸・絹織物・陶磁器など。
- (4) 朝鮮国…1392年、朝鮮半島では李成桂が高麗を滅ぼし、朝鮮国を建てた。ハングルという独自の文字がつけられ、朱子学が発達した。日本に倭寇の取りしめを求めてきたのを機に、対馬の宗氏が日本と朝鮮をとり結ぶ役割をはたして、義満のときに日朝貿易が始まり、日本は綿布や仏教の経典などを輸入し、銅や硫黄などを輸出した。
- (5) 琉球(沖縄県)…15世紀はじめ、尚氏が沖縄島の3つの王国を統一して琉球王国を建て、首里を都とした。日本や中国、朝鮮半島、東南アジアを結ぶ中継貿易で栄え、那覇は国際的な貿易港になった。
- (6) 蝦夷地(北海道)…アイヌ民族が古くから先住民として住み、狩猟・漁業や交易を行っていた。日本では津軽半島(青森県)の十三湊の豪族安藤(安東)氏が日本海の交通を通じてアイヌ民族などと広く交易を行い、海の大名として栄えた。やがて、本州の和人(アイヌ民族の日本人に対する呼び名)が蝦夷地に館を築き、アイヌ民族は圧迫された。アイヌ民族は15世紀中ごろに大首長のコシャマインを中心に蜂起したが、敗れた。

▼倭寇

著作権者への配慮から、掲載を差し控えております。実際の教材には掲載されておりますのでご安心ください。

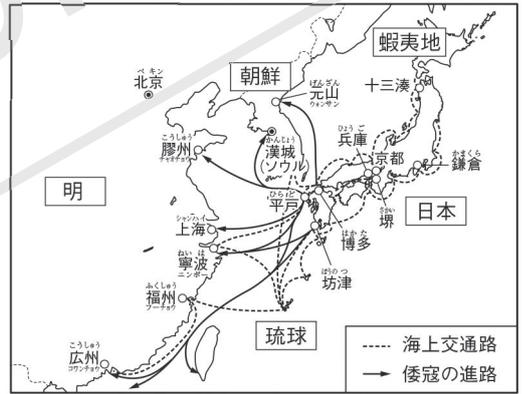
明軍の船(左側)と倭寇の船(右側)との戦いをえがいている。

▼勘合



日本の勘合船は左半分を証明書としてあたえられ、明側にある右半分と照合した。

▼東アジアの交流



3 東アジアの変動 次の()にあてはまる語句を答えなさい。

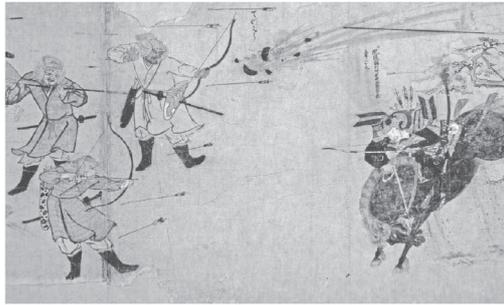
- (1) 14世紀後半、漢民族が元を北に追い払い、()を建国した。
- (2) 足利義満は(1)との貿易を始め、正式な貿易船には(1)から()という合い札の証明書があたえられた。
- (3) 1392年、李成桂が高麗を滅ぼして、()国を建てた。
- (4) 15世紀はじめ、尚氏が沖縄島の3王国を統一して()王国を建てた。
- (5) (4)王国は、東アジアや東南アジアの船が行き来し、()貿易で栄えた。
- (6) 蝦夷地では、先住民の()民族が狩猟・漁業や交易を行っていた。

- (1) _____
- (2) _____
- (3) _____
- (4) _____
- (5) _____
- (6) _____

基本問題

1 元の襲来と鎌倉幕府の滅亡 右の資料を見て、次の問いに答えなさい。

- (1) 資料の絵が示しているできごとを何と
いうか。漢字2字で書け。
- (2) 資料の左側の兵士を日本に送った皇帝
の名を書け。
- (3) 資料のできごとのときの幕府の執権の
名を書け。
- (4) 資料のできごとのあと、生活の苦しく
なった御家人を救うために、幕府が出し
た法令を何というか。

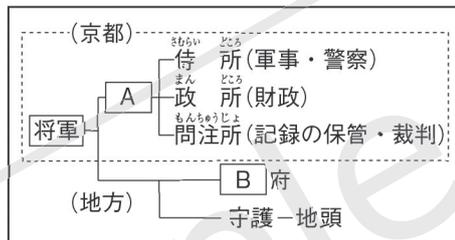


※模写

(1)	
(2)	
(3)	
(4)	

2 南北朝の動乱と室町幕府の成立 右の図を見て、次の問いに答えなさい。

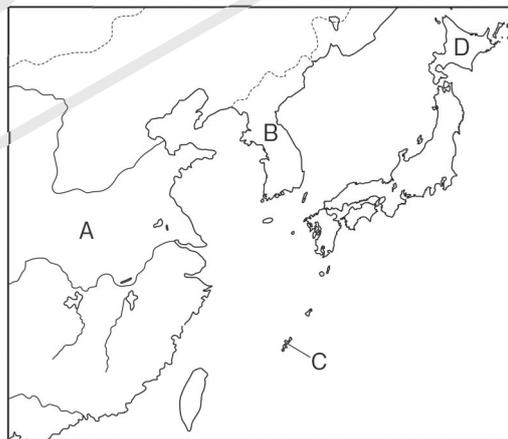
- (1) この幕府をつくった初代将軍の名を書け。
- (2) (1)がたおした、後醍醐天皇の政治を何とい
うか。
- (3) 幕府を京都の室町の御所に移した、3代将
軍の名を書け。
- (4) (3)が南北朝の統一を実現する前、京都に置
かれていた朝廷は、南朝と北朝のどちらか。
- (5) 図中のAは、将軍の補佐役である。Aの役職を何というか。
- (6) 図中のBは関東地方を治めるために置かれた地方機関である。Bに入る地名を書け。



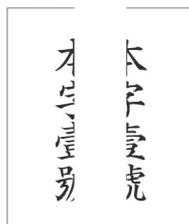
(1)	
(2)	
(3)	
(4)	
(5)	
(6)	

3 東アジアの変動 右の地図と資料を見て、次の問いに答えなさい。

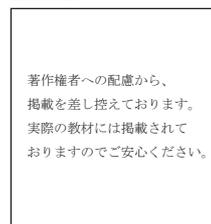
- (1) 地図中のAは、漢民族の王朝である。
Aの国名を書け。
- (2) Aの国は、日本に対して、貿易の強要
や海賊行為を行っていた集団の取りしま
りを要求した。この集団は何とよばれた
か。
- (3) 日本とAの国との貿易は、資料Iのよ
うな合い札を用いたことから何というか。
- (4) 14世紀末に建てられた、地図中のBの
国を何というか。
- (5) Bの国では、資料IIの文字がつくられた。
この文字を何というか。
- (6) 地図中のCの国は、尚氏が3つの王国を
統一して建てた。Cの国名を書け。
- (7) 地図中のDの地域の先住民で、本州の和
人の進出に圧迫されたため、大規模に蜂起
した民族を何というか。



資料 I



資料 II



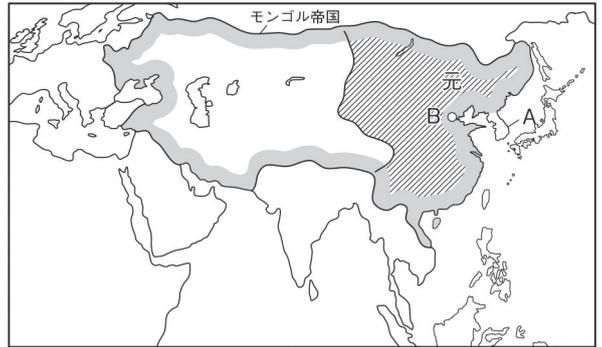
(1)	
(2)	
(3)	
(4)	
(5)	
(6)	
(7)	民族

演習問題

1 右の地図を見て、次の問いに答えなさい。



- (1) 地図中のモンゴル帝国は、13世紀はじめに民族を統一した人物に始まる。この人物名を書け。 []
- (2) 地図中のAは、モンゴル帝国に服従し、元の日本侵攻に加わった国である。この国名を書け。 []
- (3) 地図中のBは、フビライ・ハンによって元の都とされた。当時の都市名を書け。 []
- (4) 地図中の元による2度の日本侵攻をそれぞれ何というか。
最初[] 2度目[]



□(5) 元による2度の侵攻について述べた文としてあやまっているものを、次のア～エから1つ選び、記号で答えよ。 []

- ア 集団戦法と火器で幕府軍を苦しめた。 イ 幕府は博多湾沿岸に石の防塁をつくった。
- ウ 元は暴風雨によって被害をうけて撤退した。 エ この戦いで御家人たちは十分な恩賞をもらえた。

2 右の年表を見て、次の問いに答えなさい。



- (1) 年表中の①・②にあてはまる人物名を書け。
①[] ②[]
- (2) Aの政治が重視したものを、次のア～エから1つ選び、記号で答えよ。 []
ア 公家 イ 僧 ウ 武士 エ 農民
- (3) BからDにかけて、国内の地頭や新興の武士を家臣にして、強化した守護を何というか。 []
- (4) Cについて、將軍の補佐にあたった幕府の役職を、次のア～エから1つ選び、記号で答えよ。 []
ア 執権 イ 摂政 ウ 六波羅探題 エ 管領

年代	できごと
1334	建武の新政が始まる…………… A
1335	(①)が挙兵する…………… B
1338	(①)が征夷大將軍になる
1378	(②)が幕府を室町に移す…… C
1392	2つの朝廷が統一される…………… D
1429	琉球王国が建てられる…………… E
1457	[F] 民族が蜂起する

- (5) Dと同じ年に、李成桂が高麗を滅ぼして建てた国を何というか。 []
- (6) Eについて、沖縄島の3王国を統一して琉球王国をつくったのは何氏か。 []氏
- (7) 蝦夷地の先住民である [F] にあてはまる民族名を書け。 []

3 右の資料を見て、次の問いに答えなさい。



- (1) 14世紀後半ごろ、大陸沿岸では集団をつくって貿易を強要したり、海賊行為をはたらいたりする者があらわれた。資料Iは、そのような集団をえがいている。この集団を何というか。 []
- (2) 資料Iには、(1)を防ごうとする中国の兵士もえがかれている。このとき、中国は漢民族の王朝であった。この王朝名を書け。 []

資料I

著作権者への配慮から、掲載を差し控えております。実際の教材には掲載されておりますのでご安心ください。

資料II



- (3) **記述** 資料IIは、日本と中国との間で始まった貿易で使われた合い札の証明書である。この証明書が使われた理由を、資料Iと関連させて、簡単に説明せよ。
[]

学習のまとめ

年表に
まとめよう！

1 鎌倉幕府の滅亡と室町幕府の成立について学習した内容を、次の年表の[]に数字
や語句をあてはめて再確認しよう！

時代	年代	おもなできごと	中国	朝鮮
鎌倉時代	1206年	[①]がモンゴル民族を統一する	元	[②]
	1259年	朝鮮半島の[②]がモンゴル帝国に服属する		
	1271年	[③]が国号を元と定める		
	1274年	元が1回目の日本遠征軍を送り、[④]がおこる		
	1276年	鎌倉幕府の執権[⑤]が元の攻撃に備えて、石の防塁を築く		
	1281年	元が2回目の日本遠征軍を送り、[⑥]がおこる		
	1297年	鎌倉幕府が[⑦]を出して、御家人の窮乏を救おうとするが失敗する		
	1333年	[⑧]のよびかけに応じて、有力御家人や新興武士が鎌倉幕府を攻撃し、幕府が滅ぶ		
	1334年	後醍醐天皇が[⑨]を始める		
	1336年	[⑩]が京都に別の天皇を立てて北朝をつくる 後醍醐天皇が奈良の[⑪]に移り、南朝をつくる		
室町時代	南北朝時代の動乱が続く			
	1368年	中国で漢民族がモンゴル民族を北に追い払い、[⑫]を建国する	[12]	[15]
	[13]年	[14]が南北朝の統一を実現する		
	1429年	朝鮮半島で、李成桂が[15]を建てる		
	1429年	尚氏が沖縄島を統一して[16]を建てる		
1457年	和人の進出に対し、蝦夷地の[17]民族が蜂起する			

資料を
覚えよう！

2 次の資料を見て、あとの問いに答えよう。

□(1)

□(2)

□(3)

所領の質入れや売買は、
□の生活が苦しくなるも
たので、今後は禁止する。(中
略) □以外の武士や庶民が
□から買った土地について
は、売買後の年数にかわりな
く、返さなければならない。



著作権者への配慮から、
掲載を差し控えております。
実際の教材には掲載されて
おりますのでご安心ください。

1297年に幕府が出した法令は、
だれを救うことを目的としたか。
上の□にあてはまる語を、漢
字3字で書け。 []

上の□にあてはまる、将軍
の補佐役を何というか。

琉球王国の都が置かれ、王宮が
つくられたのはどこか。